



～寒さに負けず、コロナに負けるな～

新しい年が明け、1月もあつという間に最終週に入りました。先週の20日は、暦のうえで「大寒」でしたから。この時期が1年で最も寒い時期になります。例年ならインフルエンザが流行り、あちこちの学校で学級閉鎖が相次ぎますが、今年は新型コロナウィルス感染症の予防対策として手洗いや手指の消毒、マスクの着用、3密の回避などに取り組んできているおかげか、インフルエンザに感染する人は少ないようです。しかしながら、新型コロナウィルスに感染する人は毎日多数報告されており、「非常事態宣言」のもとで引き続き感染症予防対策にしっかり取り組んでいかなければなりません。特に受験を控える3年生にとっては、受験勉強の追い込みも大切ですが、同時に健康管理にも十分気を付けてほしいものです。さて、このような状況の中で、今朝の全校集会で次のような話をしました。

3学期は1年で最も短い時期ですが、その年度を締めくくるとても大切な時期です。これまで自分が取り組んできたことを振り返りながらその成果と課題を明らかにし、成果は今後の自信に、そして課題についてはまずきっちり反省して、今後その課題を改善したり克服したりしていくためにどうしていくのか、しっかり目標を立てて努力することです。その努力の大切さについて、アメリカのハーバード大学（日本でいうと学力の最も高い東京大学ともいべき有名な大学）の図書館に壁に書かれている（実際にはこれはフェイクだそうですが）「20の名言」について紹介します。

- ① 今、居眠りをすればあなたは夢を見る。でも、学習すればあなたの夢がかなう。
- ② あなたが無駄に過ごした今日一日は、どれだけの人が願ってもかなわなかつた未来である。
- ③ 物事に取り掛かるべき一番早い時は、あなたが「遅かった」と感じた瞬間である。
- ④ 今日やる方が、明日やるよりも何倍も良いのだ。
- ⑤ 勉強の苦しみは一瞬だが、勉強しなかった苦しみは一生続くのだ。
- ⑥ 勉強するのに足りないのは時間ではない。努力だ。
- ⑦ 幸福に順位はないが、成功には順位がある。
- ⑧ 学習は人生のすべてではないが、人生の一部として続くものである。
- ⑨ 苦しみが避けられないのであれば、むしろそれを楽しめ。
- ⑩ 人より早く起き人より努力して、初めて成功の味を噛みしめることができる。
- ⑪ 懶惰な人が成功することは決してない。真に成功を収める者は徹底した自己管理と忍耐力を備えた者だ。
- ⑫ 時間は一瞬で過ぎていく。
- ⑬ 今のよだれは将来の涙となる。
- ⑭ 犬のように学び、紳士のように遊べ。
- ⑮ 今日歩くのをやめれば、明日からは走るしかない。
- ⑯ 一番現実的な人は、自分の将来に投資する。
- ⑰ 教育の優劣が収入の優劣。
- ⑱ 過ぎ去った今日は二度と帰ってこない。
- ⑲ 今この瞬間も、相手は読書をして力を身につけている。
- ⑳ 苦しんでこそ初めて前に進める。



どうでしょうか。何か1つでも心に残った言葉があったでしょうか。ちょっと理解が難しいものもあったと思いますが、要は何事も努力に勝るものはないということです。3年生はもちろんのこと、1、2年生もしっかり頑張ってほしいものです。

(校長 風間 浩)